

レンタカー事業新規許可申請用紙

申請方法

大阪運輸支局 輸送部門

【申請書の作成】

- ①必要事項を記載した申請書
- ②会社登記簿謄本(個人で申請の場合は住民票)
- ③貸渡料金表(申請者で作成すること)
- ④貸渡約款(申請者で作成すること)

【申請書の提出】

①~④をまとめてクリップ止めし、合計2部作成(うち1部はすべてコピー可) 支局窓口に提出してください。



【許可書等の交付】

約1ヶ月後、支局より許可の連絡をします。

【登録免許税の納付】

登録免許税9万円を金融機関等で納付して下さい。

【レンタカーの登録】

「レンタカー事業者証明書」(R3.11.1より)を使用してレンタカーの登録を行って下さい。

※レンタカー事業に関わるお知らせ等があれば、大阪運輸支局のHP(<http://wwwtb.mlit.go.jp/kinki/osaka/yusou/rentacar.html>)に掲載しますので、隨時ご確認願います。

問い合わせ先

大阪運輸支局 輸送部門 TEL:072-822-6733

自家用自動車有償貸渡(レンタカー事業)のご案内

近畿運輸局大阪運輸支局 輸送部門

自家用自動車を有償で貸し渡す事業(レンタカー事業)を始めるには、国土交通大臣の許可を受けることが必要です。(道路運送法第80条) レンタカー事業の許可がなければ、レンタカーの登録はできません。

大阪府内において事業を行う場合は、許可申請書を作成して大阪運輸支局輸送部門へ提出して下さい。提出された申請書は審査が行われ、記載事項等に不備がなければ約1ヶ月後に許可となります。許可後、レンタカーの登録に必要な「レンタカー事業者証明書」を発行しますので、登録窓口においてレンタカーの登録を行ってください。

大阪府内においてレンタカーの登録を行う場合

その①
大阪運輸支局へ
許可申請書を提出する

その②
許可後、「レンタ
カー事業者証明
書」の発行を受
ける

その③
登録窓口におい
て、レンタカー
の登録を行う。

レンタカー事業許可基準等の概要 (令和3年10月22日付け大運輸公示第6号より抜粋)

①許可基準

- 申請者およびその役員が所定の欠格事由に該当していないことが必要です。
- 貸渡自動車は、事故を起こした場合に備えて、十分な補償を行いうる自動車保険に加入することが必要です。

②許可申請書に添付する主な書類

- 貸渡料金表
- 貸渡約款
- 会社登記簿謄本(個人で申請の場合は住民票)

③許可に付する条件

- 貸渡しに付随した運転者の労務供給は禁止しています。
- 自家用バス(定員30名以上、長さ7m以上)、靈柩車の貸渡しはできません。
- 貸渡自動車の配置事務所において、貸渡し状況、整備状況等車両の状況を把握し、適確な管理の実施が必要です。
- 年に1度、所定の報告書を運輸支局に提出する必要があります。

④その他

- 許可後、登録免許税9万円が課せられます。(許可書とともに納付書を交付します。)
- 自家用マイクロバスの貸渡しは所定の要件を満たさないと行うことができません。
- 貸渡自動車のすべてを収容する車庫を有していることが必要です。

許可申請書の提出先について

〒572-0846 寝屋川市高宮栄町12-1

大阪運輸支局 輸送部門(レンタカー)あて TEL:072-822-6733

所定の許可申請書様式を準備しておりますので、直接窓口にて入手するか大阪運輸支局のホームページよりダウンロードして入手して下さい。申請書は2部(1部はコピーで可能)作成し、輸送部門窓口に提出して下さい。なお、申請を郵送にて行う場合は、①申請書 2部 ②申請者の連絡先(書類に不備がある場合や許可後の連絡先)を記入したメモ用紙等 以上を同封して下さい。(郵送を希望される場合は、返信用封筒を同封してください。)

許可書の交付は輸送部門窓口にて行います。許可になりましたら当局より電話連絡しますので、直接窓口までお越し下さい。(返信用封筒がある場合は、許可の連絡後に発送します。)

公 示

自家用自動車の有償貸渡しの許可の基準について

自家用自動車の有償貸渡し（レンタカー事業）に関する許可は、この公示に基づき行う。

制定 令和元年 8月 1日 大運輸公示第2号
改正 令和2年12月28日 大運輸公示第9号
改正 令和3年10月22日 大運輸公示第6号

近畿運輸局 大阪運輸支局長
伊藤 徳男

記

第1 許可申請及び審査の基準

道路運送法（昭和26年法律第183号、以下「運送法」という。）第80条第1項に基づく、道路運送法施行規則（昭和26年運輸省令第75号、以下「施行規則」という。）第52条の規定により、自家用自動車の有償貸渡し（レンタカー事業）の許可申請について、次の基準により申請を受理し審査する。

1. 貸渡人

申請する貸渡人（法人にあってはその役員、なお、役員にはいかなる名称によるかを問わず、役員と同等以上の職権又は支配力を有するものを含む。以下同じ。）が、次のいずれにも該当しないこと。

- (1) 1年以上の懲役又は禁錮の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から2年を経過していないとき。
- (2) 次に定める許可の取消しを受け、取消しの日から2年を経過していないとき。
 - ア 自家用自動車の有償貸渡し
 - イ 一般旅客自動車運送事業（運送法第3条第1項各号に定める事業）
 - ウ 特定旅客自動車運送事業（運送法第3条第2項に定める事業）
 - エ 一般貨物自動車運送事業（貨物自動車運送事業法（平成元年法律第83号、以下「事業法」という。）第2条第2項に定める事業）
 - オ 特定貨物自動車運送事業（事業法第2条第3項に定める事業）
- (3) 上記（2）アからオの許可の取消しの処分に係る行政手続法（平成5年法律第88号）第15条の規定による通知（聴聞の通知）があった日から、当該処分をする日又は処分しないことを決定する日までの間に、当該事業又は貸渡しの廃止の届出をし（相当の理由がある場合を除く。）、その届出の日から2年を経過していないとき。

- (4) 上記（2）アからオのいずれかの事業において、運送法又は事業法に基づく検査を受けた日から、許可の取消しの処分に係る聴聞決定予定日までの間に、当該事業又は貸渡しの廃止の届出をし（相当の理由がある場合を除く。）、その届出の日から2年を経過していないとき。
- (5) 営業に関し成年者と同一の能力を有しない未成年者である場合において、その法定代理人が、上記（1）から（4）のいずれかに該当するとき。
- (6) 申請する貸渡人（法人にあってはその役員）が、申請日前2年前以降において、自動車運送事業の経営に類似する行為による有罪判決又は処分がないこと。

2. 申請手続、並びに申請における記載事項及び添付書類

- (1) 事務所の所在地が大阪府内にあること。
- (2) 他の運輸支局長、運輸監理部長又は陸運事務所長の許可を受けている貸渡人は、許可申請をすることができない。
- (3) 自家用自動車有償貸渡許可申請書に次の添付書類を添えて申請すること。
 - ① 貸渡料金及び貸渡約款を記載した書面
 - ② 発行後3ヶ月以内の次の書類
 - ア 申請者が個人の場合 住民票
 - イ 申請者が法人の場合 商業登記簿謄本（未登記の場合は、認証済み定款）
 - ③ 欠格事由に該当しない旨の宣誓書
 - ただし、法人にあっては、役員全員とし、新法人にあっては、発起人全員とする。
 - ④ 事務所別車種別配置車両数の一覧表
 - なお、貸渡しをする自動車の種別は、次のものに限る。
 - ア 乗用車
 - イ マイクロバス（乗車定員11人以上29人以下であり、かつ、車両長が7m以下のものに限る。以下同じ。）
 - ウ 貨物自動車（トラック）
 - エ 特種用途自動車
 - オ 二輪車
 - ⑤ 霊柩車及び乗車定員30人以上、又は車両長が7mを超えるバスの貸渡しを行わないものであること。
 - ⑥ 次の事項を記載した貸渡しの実施計画
 - ア 自動車運送事業類似行為の防止を図るための体制及び計画
 - (ア) 事務所ごとに配置する責任者
 - (イ) 従業員への指導及び研修の計画
 - イ 自動車運送事業類似行為の防止を図るための貸渡しの実施方法
 - 「レンタカー事業者が行う運転者に係る情報提供のあり方について」（平成16年3月16日付け国自旅第234号）の趣旨を徹底し、運転手に係る情報提供を行う場合には、その適正化に努められるものであること。
 - また、貸渡しに付随した運転手の労務供給（運転手の紹介及びあっせんを含む。）を行ってはならず、その旨を事務所において公衆の見やすいように掲示

できるものであること。

ウ その他貸渡しの適正化を図るための計画

(ア) 自動車事故損害賠償保険への加入状況又は加入計画

全ての貸渡自家用自動車について、次に定める要件に適合する損害賠償責任保険契約を締結することであること。

a 対人賠償 1人あたり 8,000万円以上

b 対物賠償 1件あたり 200万円以上

c 搭乗者賠償 1人あたり 500万円以上

(イ) 整備管理者（整備責任者）の配置計画

⑦レンタカー型カーシェアリングを行う場合には、次の書類を添付すること。

ア 使用する自動車の車名及び型式

イ 自動車の保管場所（デポジット）の所在地及び配置図

ウ 自動車の保管場所を管理する事務所の所在地

エ IT等の活用により行う自動車の貸渡し状況、及び整備状況等の把握方法

オ 自動車及びエンジンキー等の管理及び貸し出し方法

カ 会員規約又は契約書

キ 次の環境に配慮した自動車以外のものを配置する場合には、アイドリングストップの励行等エコドライブについて会員に研修及び啓蒙を行う計画

(ア) 天然ガス自動車（CNG自動車）

(イ) 電気自動車

(ウ) ハイブリッド車

(エ) メタノール自動車

(オ) 低燃費かつ低排出認定車

(カ) アイドリング・ストップ車

3. マイクロバスの貸渡しを行う場合の特例

マイクロバスを使用した一般貸切旅客自動車運送事業（貸切バス事業）の経営類似行為や無許可経営、貸渡人による運転手の労務供給などの不法行為が後を絶たない現状を鑑み、マイクロバスの貸渡しを行う場合には、次によるものとする。

(1) レンタカー事業において、2年以上の経営実績を有していること。

(2) 過去2年度において貸渡実績報告書及び事務所別車種別配置車両数の一覧表を期日（毎年5月31日）までに提出していること。

(3) マイクロバスの増車は、7日前までに届け出ること。

(4) 過去2年間において、運送法違反による刑罰、行政処分（不利益処分）を受けていないこと。

(5) すでにマイクロバスの貸渡しを行っている貸渡人には、直近2年間におけるマイクロバスの貸渡簿（写し）を添付すること。

ただし、前回届出時に添付した貸渡簿写しと重複する期間については、省略できるものとする。

第2 許可に付す条件

許可には、次の条件を付す。

1. この許可により、貸渡しができる自動車は次のものに限る。

ア 乗用車

イ マイクロバス（乗車定員11人以上29人以下であり、かつ、車両長が7m以下のものに限る。）

ウ 貨物自動車（トラック）

エ 特種用途自動車

オ 二輪車

2. 靈柩車及び乗車定員30人以上、又は車両長が7mを超えるバスの貸渡しを行ってはならない。

3. 自家用自動車を使用して、自動車運送事業の経営又は類似する行為を行ってはならない。

4. 貸渡しのため、自己の名義を他人に利用させてはならない。

5. 貸渡しに付随した労務供給を行ってはならない。

また、その旨を事務所において公衆の見やすいように掲示しなければならない。

6. 公示「自家用自動車の有償貸渡しの許可の基準について」を改正した場合には、改正後の基準に合致するものでなければならない。

7. あらかじめ届出をしなければならないものは次のとおりとする。

(1) 事務所の名称若しくは所在地の変更（事務所の新設も含む。）をしようとするときは、変更後の事務所の名称若しくは所在地を届出しなければならない。

ただし、他の運輸支局長の管轄する事務所に関する届出をする場合には、該当する運輸支局長にこの許可書の写しを添えて届出しなければならない。

(2) レンタカー型カーシェアリングを行う場合であって、次に掲げる環境に配慮した自動車を配置するときは、その旨を届け出なければならない。

また、アイドリングストップの励行等エコドライブについて会員に研修及び啓蒙を行う計画に従い実施しなければならない。

ア 天然ガス自動車（CNG自動車）

イ 電気自動車

ウ ハイブリッド車

エ メタノール自動車

オ 低燃費かつ低排出認定車

カ アイドリング・ストップ車

8. 遅滞なく届出しなければならないものは次のとおりとする。

(1) 貸渡人の氏名又は名称及び住所に変更があったとき。

(2) 法人の役員の変更があったとき。

ただし、代表権を有しない役員又は社員は、毎年7月31日までに前年7月1日から6月30日の変更について届け出ること。

(3) 貸渡料金及び貸渡約款に変更が生じたとき。

(4) 貸渡しを廃止したとき。

9. 毎年5月31日までに提出しなければならない報告を次のとおりとする。

(1) 貸渡実績報告書（別紙1）

前年度（前年の4月1日から3月31日。以下同じ。）における実績

(2) 次の指定する日における事務所別車種別配置車両数の一覧表

前年度6月30日、9月30日、12月31日及び3月31日

10. 貸渡料金及び貸渡約款は、事務所において公衆の見やすいところに掲示しなければならない。

11. 貸渡自動車は、一時的に他の事務所にあったとしても、配置事務所において貸渡し状況、整備状況などの車両に関する状況を把握し、適確な管理をしなければならない。

なお、カーシェアリングを行う場合であって、IT等の活用により適確に把握できると認めるときはこの限りでない。

12. 別記1の事項を記載する貸渡簿を備付け、貸渡しの状況を記録し、2年間保存しなければならない。

13. カーシェアリングの場合を除き、別記2の事項を記載した貸渡証を借受人に交付し、携行するよう指示しなければならない。

14. 貸渡人は、許可の日から1ヶ月以内に登録免許税を納付しなければならない。

15. 貸渡人が、本条件に違反したとき、又は公示で定める欠格事由に該当したときは、許可を取り消す。

附則

1. この公示は、制定の日から施行する。

2. 平成7年9月1日付、近運大旅第518号（最終改正平成30年3月30日）は、この公示の施行をもって廃止する。

3. 従前の基準により許可を受けた貸渡人は、この公示により許可を受けたものとみなす。

附則（令和2年12月28日付け大運輸公示第9号改正）

本公示は、令和3年1月1日以降に申請を受け付けたものから適用するものとする。

附則（令和3年10月22日付け大運輸公示第6号改正）

本公示は、令和3年11月1日以降に申請を受け付けたものから適用するものとする。

【別記1】

貸渡簿（貸渡原票を綴ったものにより、貸渡簿に代えることができる。）の記載事項については、次のとおりとする。

1. 借受人の氏名又は名称及び住所
2. 運転者の氏名、住所、運転免許の種類及び運転免許証の番号
3. 貸渡自動車の自動車登録番号又は車両番号
4. 貸渡日時及び時間
5. 運行区間又は行き先及び利用人数、マイクロバスにあっては使用目的
6. 走行キロ数
7. 貸渡料金
8. 事故に関する事項

【別記2】

貸渡証の記載事項については、次のとおりとする。

1. 借受人の氏名又は名称及び住所
2. 運転者の氏名、住所、運転免許の種類及び運転免許証の番号
3. 貸渡自動車の自動車登録番号又は車両番号
4. 貸渡日時及び時間
5. 貸渡事務所及び返還事務所
6. 貸渡人の氏名又は名所及び住所
7. 次の遵守事項
 - (1) 「運行中は必ず携帯し、警察官又は地方運輸局若しくは運輸支局の職員の請求があったときは、呈示しなければならない。」旨の記載
 - (2) 「自動車の借り受けに付随して、貸渡人から運転者の労務供給（運転者の紹介及び斡旋を含む。）を受けることができない」旨の記載
 - (3) 貸渡自動車に係る事故及び故障等が発生した場合の処置（処置方法、連絡先等）に関する記載
 - (4) 「貸渡期間が2日以上となる場合には、借受人が日常点検を実施すること」旨の記載

近畿運輸局大阪運輸支局長 殿

住 所
氏名又は名称
代 表 者 名
連 絡 先 ()

自家用自動車有償貸渡許可申請書

自家用自動車有償貸渡しを下記のとおり行いたいので、道路運送法第80条第1項及び同法施行規則第52条の規定により関係書類を添えて申請いたします。

記

1. 貸渡人の氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の役職・氏名

住 所
氏名又は名称
代 表 者 名

2. 貸渡人の事務所の名称及び所在地

事務所の名称	所在地

3. 貸渡しの実施計画

貸渡約款に定められたもののほか、別添のとおり実施する。

4. 貸渡しを必要とする理由

添付書類

1. 貸渡料金及び貸渡約款を記載した書類
2. 会社登記簿謄本（個人にあっては住民票、新法人にあっては発起人名簿）
3. 【様式例 1】宣誓書（欠格事項）
4. 【様式例 2】事務所別車種別配置車両数一覧表
5. 【様式例 3】貸渡しの実施計画

〔レンタカー型カーシェアリング〕

上記 1. ～ 5. の他

6. カーシェアリングに使用する自動車の車名及び型式
7. 6. の自動車の保管場所（デポジット）の所在地、配置図
8. 7. の保管場所を管理する事務所の所在地
9. I T 等の活用により行う車両の貸渡し状況、整備状況等車両の状況の把握方法
10. 車両、エンジンキー等の管理・貸し出し方法
11. 会員規約又は契約書
12. 「貸渡人を自動車の使用者として行う自家用自動車の貸渡し（レンタカー）の取扱いについて」（平成 7 年 6 月 13 日付け自旅第 138 号）2. (5) ②に規定する場合のアイドリングストップ励行等エコドライブ研修・啓蒙計画

近畿運輸局大阪運輸支局長 殿

宣 誓 書

- ① 1年以上の懲役又は禁錮の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から2年を経過していない者。
- ② 一般旅客自動車運送事業、特定旅客自動車運送事業、一般貨物自動車運送事業、特定貨物自動車運送事業又は自家用自動車の有償貸渡しの許可の取消しを受け、取消しの日から2年を経過していない者。
- ③ 一般旅客自動車運送事業、特定旅客自動車運送事業、一般貨物自動車運送事業、特定貨物自動車運送事業又は自家用自動車の有償貸渡しの許可の取消しの処分に係る行政手続法（平成5年法律第88号）第15条の規定による通知があった日から当該処分をする日又は処分をしないことを決定する日までの間に、事業又は貸渡しの廃止の届出をした者（当該事業又は貸渡しの廃止について相当の理由がある者を除く。）で、当該届出の日から2年を経過していない者。
- ④ 一般旅客自動車運送事業、特定旅客自動車運送事業、一般貨物自動車運送事業、特定貨物自動車運送事業又は自家用自動車の有償貸渡しの監査が行われた日から許可の取消しの処分に係る聴聞決定予定日までの間に、事業又は貸渡しの廃止の届出をした者（当該事業又は貸渡しの廃止について相当の理由がある者を除く。）で、当該届出の日から2年を経過していない者。
- ⑤ 営業に関し成年者と同一の能力を有しない未成年者である場合において、その法定代理人が前記①から④に該当する者。
- ⑥ 申請日前2年前以降において、自動車運送事業経営類似行為により処分を受けている者。

私は、以上の項目に該当しないものであることを宣誓致します。

令和 年 月 日

住 所

氏名又は名称

代 表 者 名

（役員（法人の場合））

氏 名

氏 名

氏 名

○ 事務所別車種別配置車両数一覧表

事務所名	所 在 地	配 置 車 両 数 (台)					
		乗 用	バ ス	ト ラ ッ ク	特 種	二 輪	合 計
合 計							

貸渡しの実施計画

(1) 自動車運送事業類似行為の防止を図るための体制・計画

① 事務所ごとに配置する責任者

事務所名	役 職	氏 名

② 従業員への指導・研修の計画等

- 新規採用の従業員に対して、自動車運送事業類似行為防止を図るための道路運送法関係法令の研修を行うとともに、毎年1回責任者から全従業員に対して講習を行うこととする。
- 自動車運送事業類似行為防止を図るための小冊子を作成し、全従業員に配布する。

(2) 自動車運送事業類似行為の防止を図るための貸渡しの実施方法

貸渡しに関しては、「レンタカー事業者が行う運転者に係る情報提供のあり方について」(平成16年3月16日付け国自旅第234号)の趣旨を徹底し、運転者に係る情報提供を行う場合には、その適正化に努めることとする。

(3) その他貸渡しの適正化を図るための計画

① 保険の加入状況・加入計画

貸渡しを行う車両の全てについて、次の任意保険(共済)に加入する。

保険内訳	補 償 金 額	保 険 会 社 名
対人保険	万円	
対物保険 (免責額	万円 万円)	
搭乗者保険 又は 人身傷害補償	万円	

② 整備管理者(整備責任者)の配置計画 等

事務所名	氏 名	資格の有無
		有 · 無
		有 · 無

③記入例

申請書は2部（1部はコピーで可）作成して下さい。

近畿運輸局大阪運輸支局長 殿

令和〇〇年〇〇月〇〇日

個人の場合は屋号と氏名を記載

住 所 大阪府寝屋川市〇〇町〇番地
氏名又は名称 〇〇レンタカー株式会社
代表者名 大阪 太郎
連絡先 072 (×××) 〇〇〇〇

自家用自動車有償貸渡許可申請書

自家用自動車有償貸渡しを下記のとおり行いたいので、道路運送法第80条第1項及び同法施行規則第52条の規定により関係書類を添えて申請いたします。

記

1. 貸渡人の氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の役職・氏名

住 所 大阪府寝屋川市〇〇町〇番地
氏名又は名称 〇〇レンタカー株式会社
代表者名 大阪 太郎

2. 貸渡人の事務所の名称及び所在地

事務所の名称	所 在 地
本社営業所	大阪府寝屋川市〇〇町〇-〇番地
堺営業所	大阪府堺市〇〇町××丁目〇番地

3. 貸渡しの実施計画

貸渡約款に定められたもののほか、別添のとおり実施する。

4. 貸渡しを必要とする理由

お客様から要望があり、レンタカー事業を行う必要があるため。

理由は自由に記載してください。

添付書類：貸渡約款、貸渡料金、会社登記簿謄本（法人）、住民票（個人）

【様式例1】

近畿運輸局大阪運輸支局長 殿

宣 誓 書

- ① 1年以上の懲役又は禁錮の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から2年を経過していない者。
- ② 一般旅客自動車運送事業、特定旅客自動車運送事業、一般貨物自動車運送事業、特定貨物自動車運送事業又は自家用自動車の有償貸渡しの許可の取り消しを受け、取り消しの日から2年を経過していない者。
- ③ 一般旅客自動車運送事業、特定旅客自動車運送事業、一般貨物自動車運送事業、特定貨物自動車運送事業又は自家用自動車の有償貸渡しの許可の取消しの処分に係る行政手続法(平成5年法律第88号)第15条の規定による通知があった日から当該処分をする日又は処分をしないことを決定する日までの間に、事業又は貸渡しの廃止の届出をした者(当該事業又は貸渡しの廃止について相当の理由がある者を除く。)で、当該届出の日から2年を経過していない者。
- ④ 一般旅客自動車運送事業、特定旅客自動車運送事業、一般貨物自動車運送事業、特定貨物自動車運送事業又は自家用自動車の有償貸渡しの監査が行われた日から許可の取消しの処分に係る聴聞決定予定日までの間に、事業又は貸渡しの廃止の届出をした者(当該事業又は貸渡しの廃止について相当の理由がある者を除く。)で、当該届出の日から2年を経過していない者。
- ⑤ 営業に関し成年者と同一の能力を有しない未成年者である場合において、その法定代理人が前記①から④に該当する者。
- ⑥ 申請日前2年前以降において、自動車運送事業経営類似行為により処分を受けている者。私は、以上の項目に該当しないものであることを確認致します。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

住 所 大阪府寝屋川市〇〇町〇番地

氏名又は名称 〇〇レンタカー株式会社

代表者名 大阪 太郎

(役員(法人の場合))

氏 名 大阪 太郎

氏 名 運輸 次郎

氏 名 大阪 花子

個人の場合は屋号と氏名を記載。

【様式例2】

○事務所別車種別配置車両数一覧表

【樣式例3】

貸渡しの実施計画

(1) 自動車運送事業類似行為の防止を図るための体制・計画

① 事務所ごとに配置する責任者

事務所名	役職	氏名
本社営業所	営業所長	大阪 花子
岡営業所	営業所長	運輸 太郎
		こちらは記載例です

こちらは記載例です。会社ごとに記載内容を変更しても結構です。

② 従業員への指導・研修の計画等

- 新規採用の従業員に対して、自動車運送事業類似行為防止を図るために道路運送法関係法令の研修を行うとともに、毎年1回責任者から全従業員に対して講習を行うこととする。

自動車運送事業類似行為防止を図るための小冊子を作成し、全従業員に配布する。

こちらは記載例です。会社ご

こちらは記載例です。会社ごとに記載内容を変更しても結構です。

(2) 自動車運送事業類似行為の防止を図るための方策

貸渡しに関しては、「レンタカー事業者が行う運転者に係る情報提供のあり方について」(平成16年3月16日付け国自旅第234号)の趣旨を徹底し、運転者に係る情報提供を行う場合には、その適正化に努めることとする。

(3) その他貸渡しの適正化を図るための計画

① 保険の加入状況・加入計画

（参考）全てについて、次の任意保険（共済）に加入する。

補償金額	保険会社名
無制限 万円	○○損害保険㈱
無制限 万円 (免責額 50 万円)	○○損害保険㈱
500 万円	○○損害保険㈱

② 整備管理者(整備責任者)の配置計画 等

事務所名	氏名	資格の有無
本社営業所	大阪 花子	有・無
堺営業所	運輸 太郎	有・無

配置する車両数に応じて、大阪運輸支局整備保安部門に整備管理者の選任届出が必要になります。（道路運送車両法第50条、同法施行規則第31条の3）

また、届出が不要の場合でも日常点検を行う整備責任者を選任してください。